

# 共同研究「酒類の6次産業化の法と政策」 2018年度活動報告

渡 部 純

本年度の当研究会は、当初の研究計画と予算執行計画を大幅に変更し、『月刊税理』（ぎょうせい）での連載執筆に力を注ぐこととした。この連載は、研究会として全体の統一テーマと分担を定め、ゲスト執筆者も加えて、各自が担当の研究主題に専心することにしたものである。これは、見られるように、2019、2020年度まで引き続いて行なわれる予定である。

## 2018年度 これからの日本のワインを考える

第01回 渡 辺 充（明治学院大学教授）

連載趣旨

第02回 蛭 原 健 介（明治学院大学教授）

日本のワイン造りと「日本ワイン」の定義

第03回 蛭 原 健 介（明治学院大学教授）

新しい表示ルールについて

第04回 蛭 原 健 介（明治学院大学教授）

ワインの地名表示と地理的表示

第05回 毛 桂 榮（明治学院大学教授）

中国のワイン産地と大手企業

第06回 毛 桂 榮（明治学院大学教授）

中国ワインの国家基準

第07回 毛 桂 榮（明治学院大学教授）

中国ワイン産業の人材養成

第08回 寫 村 公 宏（北海道ワイン株式会社社長）

北海道のワインと地理的表示

第09回 毛 桂 榮（明治学院大学教授）

イギリスのボックスワインのこと

第10回 渡 部 純（明治学院大学教授）

ワインは地方を救う(1)

第11回 渡 部 純（明治学院大学教授）

ワインは地方を救う(2)

第12回 渡 辺 充（明治学院大学教授）

ワインと税金 —モンマルトルとワインの非課税—

共同研究：酒類の6次産業化の法と政策

2019年度 ～「新世界」からみるワインのグローバル化～（進行中）

- 第13回 蛭原健介（明治学院大学教授）  
ワイン市場における「新世界」と「旧世界」
- 第14回 渡辺充（明治学院大学教授）  
ワインを巡る関税の問題
- 第15回 渡部純（明治学院大学教授）  
政治学・政治史的な観点から近代以降の新世界
- 第16回 菅正広（明治学院大学教授）  
世界経済からみた新興ワイン生産国
- 第17回 毛桂榮（明治学院大学教授）  
南米の歴史、政治、ワイン産業
- 第18回 ゲストライター予定  
チリのワイン産地とワイン法
- 第19回 毛桂榮（明治学院大学教授）  
アメリカのワインの歴史（禁酒法を含む）
- 第20回 渡部純（明治学院大学教授）  
カリフォルニアワインについて
- 第21回 蛭原健介（明治学院大学教授）  
カナダのワイン産地とワイン法
- 第22回 原田喜美枝（中央大学商学部教授・豪州国立大学豪日研究センター客員フェロー）  
オーストラリアのワイン産業
- 第23回 原田喜美枝（中央大学商学部教授・豪州国立大学豪日研究センター客員フェロー）  
ニュージーランドのワイン産業
- 第24回 菅正広（明治学院大学教授）  
南アフリカのワイン産業

2020年度 ～第三世界とワイン～（予定）